

---

---

# 第1回 Cell Based Assay Workshop

ディ・スリー研究所主催

---

---

日時：2021年5月10日（月）13:00～17:15

参加形式：CISCO WEB リモート

会費：無料（約50名）事前登録者

申込先：〒305-0036 茨城県つくば市西郷 25-4 TEL0298-52-3949/FAX 029-845-3157

ディ・スリー研究所 堀江 透 HTML:<http://www.d3researchlabo.com>（参加登録先）

---

## プログラム

13:00～13:30 Cell Based Assay Workshop 研究会発足にあたって

堀江 透

ディ・スリー研究所代表取締役所長

13:30～14:15 招待講演

「チトクローム P450 (CYP) の発見の経緯

—出会いと偶然そして高い志—

大村 恒雄 先生 九州大学名誉教授

14:15～15:00 アドバイザー講演

「ヒト iPS 細胞構築の研究の経緯とその後の問題点（特に再生医療への利用など）」

—ヒト iPS 細胞を世界で初めて作製した—

桜田 一洋 先生

国立研究開発法人 理化学研究所 情報統合本部 先端データサイエンスプロジェクト

プロジェクトリーダー（元日本シェリング（株）・バイエル薬品執行役員・取締役）

15:00～15:30 アカデミア講演

「ヒト肝細胞キメラマウスを用いた in vitro/in vivo 体内動態予測とその展望」

佐能 正剛 先生

和歌山県立医科大学 薬学部 准教授

15:30～16:00 アカデミア講演

「薬物性肝障害発症機序に基づいた in vitro 肝毒性評価モデルの構築」

竹村 晃典 先生

千葉大学大学院薬学研究院生物薬剤研究室 助教

**16:00～16:30 製薬企業**

「新規培養基材コラーゲンビトリゲル培養器を用いた PXB 細胞（ヒト肝細胞）におけるヒト肝クリアランス予測」

渡 隆爾 先生

エーザイ株式会社

メディスン開発センター BA 機能ユニット

グローバル薬物動態研究部 薬物動態研究室

2. 筑波大学大学院

人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻

**16:30～17:00 企業講演**

「高酸素透過性培養容器の開発」

松木 智昭 先生

三井化学株式会社 機能性ポリマー事業部 開発グループ

プロジェクトマネージャー